

# 猛暑に注意と

昨日は、「高知で気温四十一度をこして新記録となった。」と報じています。まさに全国各地で連日の猛暑日が続ぎ、熱中症で病院に何人搬送されたというニュースが連日放送されています。

地球の温暖化がなせる出来事なのでしょうか、これから先が心配です。

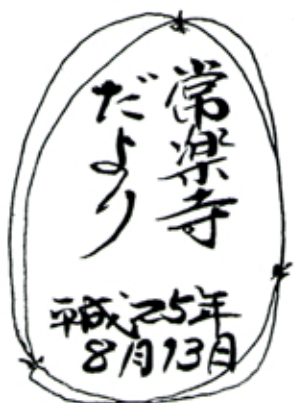
常楽寺の秋の名物は「ヒガンバナ」ですが、年々花の開花がずれ込んできているように感じられます。秋のお彼岸頃になると不思議なほど、一斉に花が咲き出し「名実ともにヒガンバナ」でしたが、昨年も開花が遅れ、ヒガンバナの球根も気温の高い日々が続ぎ

秋の訪れを

感じられなくなって来たのではないかと心配です。

農家の方々に伺っても、異口同音に季節の異常さを話されています。特産の作物もただんだん北に移動しているのではないのでしょうか、米の取れなかつた北海道でも、品種の改良も進めているのでしようが、おいしいお米がたくさん収穫されるようになって来ました。

それにしても、まだまだ暑い日が続きます、健康を過信せずに、熱中症には十分注意したいものです。群馬は全国的に見ても大変高い気温の地域です。



# 色紙展にお出かけ下さい

この秋のヒガンバナの季節には、絵の大家、太田市美術協会会長の中島裕明さんの花の絵と、私の書を合体させた色紙展を開

先年お母さんを「へんく、お母さんに捧げる千枚の花の絵を描く決意をしてやり遂げたり、この春には『群馬ブルーパーク』で絵画展を開いたり、現在は『上毛新聞のシャトル』に東毛の名所』の掲載を続けています。

催します。皆様に購入していただければまだまだ復興の遅れている、被災地への支援に役立てさせていただけます。

中島裕明さんは、永い間、高校の美術の教師として教壇に立ち、退職後は絵画制作一筋に、絵の精進を続けてこられました。

花の絵と書の  
色紙展  
絵書 中島裕明(太田美術協会会長)  
本城亮俊(群馬道協会会長)

と き 平成25年9月20日(金)~10月6日(日)  
「午前9時~午後5時迄」  
ところ 太田市上田島町372 常楽寺境内  
「うすさま明王堂内ほか」

今、上毛新聞の『シャトル』版で、東毛地域の名所を写真とスケッチで紹介している、太田市美術協会々長の中島裕明さんの花の絵と、私(本城亮俊=一般社団法人群馬県書道協会々長)の書とを組み合わせた色紙作品をたくさん展示します。

私の書く文字は、すべて弘法大師、お大師さんの言葉を集めてみました。弘法大師お大師さんは、たくさん著書を著し、真言の教えを広め、教育に産業や文化の発展に尽くされた方で、今日でも多くの人々の心の支えとなっています。

ご希望の方々には、頒布もいたします。花の季節です皆様のご来場をお待ちしています。